



# 会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



## 第22回

## 安田倉庫株式会社

海外・国際推進部

海外・国際推進グループ

担当マネージャー

宮内 依都美さん

### PROFILE

2002年入社、国際営業部に配属。2006年顧客企業に駐在。2007年国内営業、2011年国際輸送センターを経験。2013年から1年間の産休を経て、2014年復帰、営業企画部に配属、海外現地法人の統括業務を担当。2018年5月、海外・国際推進部が営業企画部から分離・新設したのに伴い、現在の部署に異動。東京都出身。

## 「今だからこそ経験できることにやりがい」

——これまでのご経験について教えてください。

入社当時は輸出入業務の営業を担当しました。4年後、お客様の拠点に駐在し、お客様と当社の窓口としてお客様のロジスティクスをサポートしました。1年後、本社に戻ると今度は国内業務の営業担当に。2011年に国際輸送センターに異動、2013年に産休を取るまでは、輸出入の手配を担当しました。産休から復帰後は、営業企画部で海外現地法人や駐在事務所の統括業務を担当。営業企画部から今の部署が分離した後も、担当業務自体は変わっていません。マネージャー職に就いたのは2017年です。

——管理職になった際、意識の変化はありましたか。

マネージャーになったといっても、当グループは部長とシニアスタッフの方と私の3名体制で、業務内容も以前とそう変わりありません。とは言え、例えば社内会議への参加機会が増えるなど、今のポジションだからこそスムーズにできることが増えたと感じています。もちろん責任も伴いますが、自分自身の可動領域が広がったと思います。

——やりがいを感じる時はどんなときですか。

変化が激しい海外における拠点の拡大が当部の課題の一つですが、そのためには世界動向や現地の情勢、またM&A等も含め、さまざまな要因について調査分析し、計画しなければなりません。スピード感も必要ですし、勉強しなくてはならないこともたくさんありますが、その分やりがいも感じています。また先般、新たな長期ビジョンと新中期経営計画の策定にあたり、中計策定タスクフォースチームメンバーとして立案の策定に携わりました。さまざまな知見を持った人たちとの取り組みはとても刺激になりましたし、やり終えたときには大きな達成感がありました。

## 「計画で仕事は8割が決まる」

——業務にあたる際、心がけていることを教えてください。

何事も計画を立てて進めることです。自分自身の経験から、仕事は計画が8割を占めていると思っています。事前に準備をしていれば、仕事もスムーズに進行しますし、イレギュラーな事案が発生しても容易にカバーすることができます。

——仕事と育児の両立のうえで、心がけていることはありますか？

一番大変なのは時間の調整になりますが、「今日は何時まで」と決めて取り組めば、何とかなることも分かってきました。私自身、子供を持つまでオーバーワーク気味だったのですが、これからは昔と同じやり方では通りませんし、時間を区切ることが生産性向上につながっているとも感じます。また、ワークライフバランスのためにも、健康管理には気を付けています。現在のオフタイムは育児で手いっぱいですが、子供の成長は見ていて楽しいし、仕事と育児がオン・オフの気持ちの切り替えになっています。

——今後の抱負を教えてください。

私は、当社が新卒女性総合職の採用を開始した年に入社しました。ここまでやってこられたのも、周囲の方々のサポートのおかげだと感謝しています。一方で、第1号としての責任も感じています。女性が働きやすい環境という点ではまだまだ課題が多いこともありますが、第1世代として後に続く皆さんの力になればと思っています。

——物流業界で働く女性の皆さんにアドバイスをお願いします。

人がいるところに物流は生まれます。技術革新が進み、仕事のやり方はAIによって変わることがあって



中経策定タスクフォース打ち上げの席で、藤井社長、メンバーの皆さんと



完成したばかりの上海倉庫(第1期)の前で。「初めての海外出張も上海でした。そのころはまだ発展途上の様子でしたが、10年後に再訪すると見違えるほどの大都市に。アジアに行くたび、成長する国独特のスピード感や活気を感じます」

も、物流業界自体は人が中心となって発展していく、やりがいのある業界だと思っています。今はまだ、他業界に比べ、先進的な環境とは言えませんが、これから変わっていくはずです。働く側も、変化が必要な部分について自ら発信することで、さらに良い環境になっていくと思います。一緒に頑張りましょう。

——ありがとうございました。

会社概要

安田倉庫株式会社

本社：東京都港区海岸3-3-8

創立：1919年12月20日

資本金：36億210万円

連結従業員数：1,063名(内、安田倉庫従業員数 397名 2018年9月30日現在)

代表者：取締役社長 藤井 信行

【事業概要】

安田倉庫は創立以来、倉庫業を中核として物流事業を全国に展開、さらにアジアを中心に海外へとネットワークを拡げてきた。また早くから不動産事業にも力を入れている。今年、創立100周年の節目を迎えるにあたり、次の100年の成長に向け「長期ビジョン2030」を、また2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画「YASDA Next100」を策定。企業理念である「信頼・創造・挑戦」を基本に、新たに制定したコーポレートスローガン「Logistics, Progress, Borderless」を掲げ、社会からの期待を超える企業グループの確立を目指している。



上海・青浦倉庫(安田物流(上海)有限公司)